

「令和7年度 道市連携海外展開推進事業（国際ビジネス人材支援事業）委託業務」
に係る公募型企画競争（プロポーザル） 質問と回答

令和7年5月9日更新

	質問内容	回答
1	国の予算が入っているか。入っている場合、予算名も教えていただきたい。	国の予算は含んでおりません。
2	精算時に提出する書類はなにか。	完了届及び請求書（指定の様式）、業務完了状況が確認できる報告書になります。
3	再委託する案件は、再委託金額の上限設定があるか。	金額の上限設定はございませんが、再委託はやむを得ない場合にのみ認められるものになります。
4	契約は金額確定型の契約か、もしくは概算契約のどちらか。	契約時に契約金額を決定します。
5	一般管理費は認められるか。	一般管理費を請求時に含めていただいて構いません。
6	契約保証金の納付義務はあるか。	札幌市契約規則第25条の各号に該当すると認められた場合は免除となります。
7	予算配分の記載とは、別紙の見積書と同じものを記載するのか、別の場合は、どのような項目や粒度で記載する必要があるのか。	基本的には見積書と同様の内容を想定していますが、ここでは大まかな事業全体における予算配分を把握する意図がありますので、見積書ほど詳細な情報である必要はございません。
8	現地での移動にかかる車両等の手配について、手配のみ行き、料金は企業負担で問題ないか。空港からホテルまでの往復も含まれるか。	手配料及び利用料等についても委託費の中に含めています。移動については、空港・ホテル間は含みません。
9	「日本語および現地語で作成」とありますが、現地人材でIT高度人材の多くは「英語」で就学をしており英語で問題がない場合は「英語」での作成でもよいか。英語要件がある方が適切	イベント開催にあたり、開催国・現地人材の状況から英語での作成で問題ないと判断できる場合は、英語で問題ありません。

	な人材選定にもつながるとも考えている。	
10	「日本語専攻過程がある」とあるが、IT 学科があり日本語学科もある学校がない場合、今回の事業は IT 人材とのマッチング目的であると理解しており、IT 人材のいる学校を優先してよいか。または「教育機関との面談」においては、「IT 技術者以外に日本語学科（文系）人材とのマッチング可能性を促す」意図があるのであれば、その旨教示頂きたい。	IT 人材が在籍している教育機関を選定いただく事で問題ありません。